

スポーツ健康科学研究科出願者用

2026年度 博士課程（前期課程）志望教員調査票

受験番号	大学記入欄
------	-------

氏 名

志望順位	第1志望	第2志望	第3志望
志望する教員			

・第1志望欄は必ず記入すること。第1志望とする教員に、研究計画について事前に相談して了解を得ること。

教員連絡先

学系	教員名	研究分野	研究キーワード	研究テーマ	メールアドレス
応用健康科学系	柳田昌彦	疫学・公衆衛生	公衆衛生学、ヘルスプロモーション、運動疫学	①メタボリック・ロコモティブシンドロームを予防・改善するための最適なトレーニング方法の解明 ② NIPPON DATAに基づく国民の身体活動状況と生活習慣病危険因子との関連性	myanagit@mail.doshisha.ac.jp
	石井好二郎	運動処方	運動処方、発育発達、加齢・老化、エネルギー代謝	小児から高齢者および有患者から競技者までの運動処方の開発・展開	kishii@mail.doshisha.ac.jp
	海老根直之	栄養学	スポーツ栄養学、人間栄養学、エネルギー代謝、水分補給	食事により摂取されるカロリーと運動などで消費されるカロリーを結びつけた研究、ならびにヒトを対象に安定同位体トレーサーを用いた水代謝の研究など	nebine@mail.doshisha.ac.jp
スポーツ医科学系	北條達也	スポーツ医学	スポーツ傷害、傷害予防、運動器、保存療法	スポーツ傷害の疫学・予防に関する研究 ダンス競技（バレエ・チアなど）の傷害予防 学童期運動器検診の有用性の研究 運動器傷害に対する保存療法の研究	thojo@mail.doshisha.ac.jp
	福岡義之	生理人類学	低温低酸素環境の適応、アスリート・コンディショニング、衣服生理学、歩・走行能の人類進化、脊髄損傷の食事運動療法、呼吸循環機能の伝達関数モデル	・ヒト歩行における全身の協同の環境適応：肺一循環一筋の連関に着目して ・低温・低酸素暴露下での呼吸一循環一体温システムの環境適応 ・直列弾性モデルを用いたヒト骨格筋の弾性エネルギーの定量化と運動適性 ・ヒトの移行速度と経済速度に関する人類学的検討 ・マイクロナノバブル装置を用いたアスリートの疲労回復と暑熱環境適応	yfukuoka@mail.doshisha.ac.jp
身体システム科学系	中村康雄	スポーツ・バイオメカニクス	肩関節の運動解析、スポーツ動作の解析	・野球、サッカー、ゴルフなどのスポーツ動作や日常生活動作の運動学的・動力学的解析 ・肩甲骨運動の無侵襲測定法の開発	yanakamu@mail.doshisha.ac.jp
	上林清孝	神経科学	運動制御・学習、脳計測、脊髄反射、筋電図、神経リハビリテーション	ヒトの身体運動における制御・学習メカニズムの神経生理学的研究、トレーニングや環境変化に対する脳神経系の適応に関する研究	kkamibay@mail.doshisha.ac.jp
	若原 卓	生体ダイナミクス	骨格筋の収縮特性、筋量分布、トレーニング変化	1. ヒト骨格筋のメカニクス・収縮特性、2. スポーツ選手の筋量分布、3. トレーニングによる筋形状・筋機能の変化	twakahara@mail.doshisha.ac.jp
トレーニング科学系	竹田正樹	スポーツ生理学	高所トレーニング、体カトレーニング、エネルギー代謝、ノルディックウォーキング、認知機能	スポーツ競技力と身体トレーニングに関するスポーツ生理学の解明、ならびに高齢者の認知機能低下予防や幼児にとつての必要な運動トレーニング方法の解明	mtakeda@mail.doshisha.ac.jp
	※高倉久志	スポーツ分子生物学	持久的運動パフォーマンス、トレーニング適応の分子機序、ミトコンドリア生合成	低酸素環境を用いた有酸素性代謝能力を効果的に向上させる運動トレーニング方法の検証 高強度間欠的トレーニング（HIIT）が骨格筋の適応に及ぼす影響 について	htakakura@mail.doshisha.ac.jp
	※新井 彩	バイオメカニクス、神経-筋メカニクス	動作解析、筋電図、トレーニング、Stretch-shortening cycle、運動制御、コントロール、歩容	走動作、跳躍（Stretch-shortening cycle 運動）の解析、陸上競技のトレーニング・パフォーマンス解析、歩行動作、日常生活動作、女性のハイヒール歩行の解析	aarai@mail.doshisha.ac.jp
コーチング科学・身体教育学系	田附俊一	身体教育学	「コツ」や「カン」習得、スポーツや運動の指導法（一般理論および種目理論）、幼児の運動遊び	環境の提供による「教えない」で「できる」指導 ①スポーツや運動遊びの「駆け引き」の定量化と学習・ドイツの Ballschule（ボールゲーム）による空間を認知し、タイミングよく行動する能力促進・フェンシングやバドミントンなど個対個の駆け引き・サッカーなどゴール型ゲームのスペースを見つけ、タイミング良く走り込む、パスを出す能力 ②幼稚園における運動遊びの種類と情報伝達としてのコミュニケーション	stazuke@mail.doshisha.ac.jp
	石倉忠夫	スポーツ心理学	運動技能学習、心理的スキル、観察学習、示範提示法、注視運動	スポーツ・体育心理学からのアプローチ：スポーツ・スキルの習得や向上を能率的に促進する練習・指導法とは？試合で実力発揮できる心理的スキルとは？	fishikura@mail.doshisha.ac.jp
	岩田昌太郎	スポーツ教育学	体育科教育学、教師教育、授業研究	保健体育やスポーツの教育学、教師教育、授業研究といった学問領域を中心とした保健体育科教師の専門性開発や教師教育者の養成と成長、そして国際スポーツ教育の開発	siwata@mail.doshisha.ac.jp
	※松倉啓太	スポーツコーチング	球技スポーツのコーチング	スポーツにおけるコーチング	kmatsuku@mail.doshisha.ac.jp
スポーツ社会科学系	二宮浩彰	スポーツ・マーケティング	スポーツ消費者行動・マーケティングリサーチ・スポーツツーリズム	スポーツ産業の発展、スポーツによる地域活性化、生涯スポーツの普及にかかわるスポーツ・マネジメント	hniinomi@mail.doshisha.ac.jp
	庄子博人	スポーツビジネス	スポーツビジネス、スポーツ経済、スポーツ産業	①官民連携によるスタジアム・アリーナの新たなビジネスモデルの開発 ②国民経済計算に基づいたスポーツ産業規模の推計	hishoji@mail.doshisha.ac.jp
	※河西正博	障害者スポーツ	身体障害者・スポーツ社会化・障害意識・障害学	①障害者のスポーツ参加による「障害意識」の変容 ②障害者スポーツ場面における「障害者」「健常者」の関係性 ③障害児・者の運動、スポーツの活動実態（特別支援学校、総合型地域スポーツクラブ、アスリート等）	mkawanis@mail.doshisha.ac.jp

※の教員は、志望する教員の欄には記載しないでください。ただし、大学院生への研究アドバイスを行うことがあります。